

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第5区分

【発行日】平成30年1月18日(2018.1.18)

【公表番号】特表2016-539839(P2016-539839A)

【公表日】平成28年12月22日(2016.12.22)

【年通号数】公開・登録公報2016-069

【出願番号】特願2016-526840(P2016-526840)

【国際特許分類】

B 6 2 J 99/00 (2009.01)

B 6 2 J 17/00 (2006.01)

B 6 2 J 33/00 (2006.01)

【F I】

B 6 2 J 99/00 G

B 6 2 J 17/00 A

B 6 2 J 99/00 L

B 6 2 J 33/00 A

B 6 2 J 99/00 J

【手続補正書】

【提出日】平成29年11月8日(2017.11.8)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ハウジング要素(1330)と、

該ハウジング要素内に画成された吸気口(1370)と、

該ハウジング要素内に画成された空気出力部(1372)と、

該吸気口を該空気出力部につなぐエアクリーニング経路であって、その中に設けられたエアクリーナー(1332)を含むエアクリーニング経路と、

該ハウジング要素と一体形成されたエアディフレクタ(1250)であって、周囲空気を受け入れるように配置されたディフレクタ入力部(1252)を含み、前記エアクリーニング経路とは異なるエアディフレクタ経路を備えているエアディフレクタと、

を備えるオートバイのエアクリーナーハウジング。

【請求項2】

吸気口をさらに含み、前記エアディフレクタは、オートバイに結合された際に、前記吸気口よりも低い位置に配置されるように構成されている、請求項1に記載のオートバイハウジング。

【請求項3】

前記エアディフレクタは、前記ディフレクタ経路から大気中へ空気を排出するように配置されたディフレクタ出力部(1254)をさらに含む、請求項1に記載のオートバイハウジング。

【請求項4】

前記ハウジング要素は、エアクリーナーカバー(1334)をそれに結合するように機能するカバーマウント(1374)をさらに含む、請求項1に記載のオートバイハウジング。

【請求項5】

前記エアディフレクタは、前記ディフレクタ入力部から前記エアディフレクタ経路に沿って前記ディフレクタ出力部まで空気を送るような形状で形成される、請求項4に記載のオートバイハウジング。

【請求項6】

前記エアカバークリーナーが前記ハウジング要素に結合された場合、前記エアディフレクタ経路は、該エアクリーナーカバーの周囲に沿って進む、請求項5に記載のオートバイハウジング。

【請求項7】

使用され、およびオートバイフレーム(4)に結合されると、前記エアディフレクタは、前記ハウジング要素の下端部に配置される、請求項1に記載のオートバイハウジング。

【請求項8】

使用され、およびオートバイフレーム(4)に結合されると、エアディフレクタ出力部(1254)が、前記ハウジング要素の後端に配置される、請求項1に記載のオートバイハウジング。

【請求項9】

使用され、およびオートバイフレームに結合されると、エアディフレクタ出力部(1254)は、そこから出る空気が、エンジンシリンダヘッド(1170、1172)に接触するように配置される、請求項1に記載のオートバイハウジング。

【請求項10】

前記シリンダヘッドは、少なくとも2つのシリンダを有するエンジンの後方シリンダヘッド(1172)である、請求項9に記載のオートバイハウジング。

【請求項11】

前記エアディフレクタは、前記オートバイに組み付けられると、該オートバイのエンジン(12)のシリンダヘッド(1170、1172)に対して横方向に隣接するディフレクタ出力部(1254)を含む、請求項1に記載のオートバイハウジング。

【請求項12】

フレーム(4)と、

該フレームを支持する前輪および後輪(6、8)と、

該後輪に駆動可能に接続された伝動機構(10)であって、該伝動機構が、少なくとも第1および第2のシリンダ(1170、1172)を有する内燃エンジン(12)を含み、第2のシリンダが、第1のシリンダの後方に位置している伝動機構と、

エアクリーナー(1332)と、

周囲空気を受け入れる吸気口(1252)を含むエアディフレクタ(1250)であって、該エアディフレクタが、該吸気口から空気出力部(1254)までの空気経路を画成し、該空気出力部が該後方シリンダに隣接して配置されているエアディフレクタと、を備えるオートバイ(2)。

【請求項13】

前記吸気口は、前記後方シリンダの前方に配置される、請求項12に記載のオートバイ。

【請求項14】

前記空気出力部は、前記後方シリンダの横方向に隣接する、請求項12に記載のオートバイ。

【請求項15】

前記空気出力部は、前記後方シリンダの最後尾の前方にある、請求項12に記載のオートバイ。

【請求項16】

前記エアディフレクタは、前記エアクリーナーへの接続を介して上から吊るされる、請求項12に記載のオートバイ。

【請求項17】

自動車(2)用風防アセンブリ(1650)であって、

上端部(1656)と、下端部(1658)と、側縁部(1660、1662)とを有する風防(1652)と、

該下端部に隣接する、該風防への第1の取付け箇所(1666e、1668e)および該第1の取付け箇所の上に垂直方向に配置された、該風防への第2の取付け箇所(1666g、1668g)と、

前記第1の取付け箇所より垂直方向上方に位置するとともに前記自動車のハンドルバーと相補的な軸を有するマウント(1680、1682)と、

前記自動車の第2の箇所に取り付け可能なクランプ(1686、1688)と、
を備えるブラケットアセンブリ(1654)と、
を備える風防アセンブリ。

【請求項18】

前記ブラケットアセンブリは、2つのブラケット部(1666、1668)を備え、各
ブラケット部は、前記風防の内側面に配置される、請求項17に記載の風防。

【請求項19】

各ブラケットは、細長いブラケットフレーム部(1666a、1668a)を有し、該
ブラケットフレーム部は、前記第1および第2の取付け箇所を支持する、請求項18に記
載の風防。

【請求項20】

各ブラケットフレーム部は、概して垂直方向に延びている部分(1666b、1668b)
と、角度の付いた部分(1666c、1668c)とを含む、請求項19に記載の風防。

【請求項21】

前記概して垂直方向に延びている部分は、前記風防の垂直方向の中心線の両側で該風防
に結合される、請求項20に記載の風防。

【請求項22】

前記第1の取付け箇所は、前記概して垂直方向に延びている部分の下方端部によって支
持される、請求項21に記載の風防。

【請求項23】

前記クランプは、垂直方向で、前記第1の取付け箇所よりも高く配置される、請求項2
2に記載の風防。

【請求項24】

各角度の付いた部分は、前記風防の側縁部に向かって角度が付けられている、請求項2
0に記載の風防。

【請求項25】

前記第2の取付け箇所は、前記角度の付いた部分の外側端部によって支持される、請求
項24に記載の風防。

【請求項26】

前記マウントは、垂直方向で、前記第2の取付け箇所よりも低く配置される、請求項2
5に記載の風防。

【請求項27】

各ブラケットフレーム部は、前記マウントの一方を支持するブラケットアーム(169
0、1692)を有する、請求項19に記載の風防。

【請求項28】

各ブラケットアームは、前記風防の垂直方向の中心線に向かって前記マウントを押す、
請求項27に記載の風防。

【請求項29】

前記マウントは、ファスナーによって前記自動車のハンドルバーに結合し、および前記
クランプは、ファスナーを用いることなく、前記自動車上の前記第2の箇所に結合する、
請求項17に記載の風防。

【請求項30】

フレーム(4)と、

該フレームを支持する前輪および後輪(6、8)と、

該後輪に駆動可能に接続された伝動機構(10)と、

該前輪に結合された、オートバイを操縦するためのステアリングアセンブリ(20)であって、該前輪に結合されたフロントフォーク(72)と、該フロントフォークに結合されたハンドルバー(28)とを備えるステアリングアセンブリと、

アッパーフェアリング(50)と、

該フレームに結合されたロアーフェアリング(66)と、

該ロアーフェアリングの上方部における左右のディフレクタ(220A、220B)であって、該ロアーフェアリングの実質的に背後の解放位置と、空気をそこでライダーからそらす、該ロアーフェアリングへの上部延長部を提供する閉鎖位置との間で移動可能であるディフレクタと、

を備えるオートバイ(2)。

【請求項31】

前記ディフレクタは、前記自動車の概して長手方向の軸(1400)の周りに結合され、および前記自動車に対して概して横方向の平面内で回転する、請求項30に記載のオートバイ。

【請求項32】

前記ロアーフェアリングは、前記フロントフォークに隣接する位置まで延びている、請求項30に記載のオートバイ。

【請求項33】

前記ロアーフェアリングは、前記フロントフォークにつながる輪郭面(250)を有する、請求項32に記載のオートバイ。

【請求項34】

前記輪郭面は、前記フロントフォークにつながる概して凹状である、請求項33に記載のオートバイ。

【請求項35】

前記輪郭面を介して配置された通気口(222)と、前記通気口を覆って配置された可動カバー(350)とをさらに備える、請求項33に記載のオートバイ。

【請求項36】

前記可動通気口カバーと、前記ディフレクタは、前記可動通気口カバーおよびディフレクタの少なくとも一つの位置で重なる、請求項35に記載のオートバイ。

【請求項37】

前記ディフレクタは、独立して動くことが可能である、請求項30に記載のオートバイ。

【請求項38】

前記アッパーフェアリングと前記ロアーフェアリングは交差し、前記ディフレクタは、その交差部に隣接して配置される、請求項30に記載のオートバイ。

【請求項39】

前記ディフレクタは、前記ロアーフェアリングに結合される、請求項38に記載のオートバイ。

【請求項40】

(a) 前記アッパーフェアリングは、最大幅D₁を有し、

(b) 前記ロアーフェアリングは、最大幅D₂を有し、

(c) 前記交差部における前記アッパーフェアリングおよび/または前記ロアーフェアリングの幅は、最大幅D₃を有し、

(d) 前記閉位置における前記ディフレクタの外側面までの幅は、最大幅D₄を有し、

(e) D₄はD₃よりも大きい、請求項38に記載のオートバイ。

【請求項41】

D₁は、D₂に実質的に等しい、請求項40に記載のオートバイ。

【請求項 4 2】

D₂ は D₃ よりも大きい、請求項 4 0 に記載のオートバイ。

【請求項 4 3】

フレーム(4)と、

該フレームを支持する前輪および後輪(6、8)と、

該後輪に駆動可能に接続された伝動機構(10)と、

該前輪に結合された、オートバイを操縦するためのステアリングアセンブリ(20)であって、該前輪に結合されたフロントフォーク(72)と、該フロントフォークに結合されたハンドルバー(28)とを備えるステアリングアセンブリと、

前記フレームに結合された、前記フロントフォークにつながる輪郭面(250)を有するロアーフェアリング(66)と、

該ロアーフェアリングの上方部における左右のディフレクタ(220A、220B)であって、該ロアーフェアリングの実質的に背後の位置と、該ディフレクタが空気をそこでライダーから離してそらす、該ロアーフェアリングへの延長部を形成する位置との間で移動可能であるディフレクタと、

を備えるオートバイ(2)。

【請求項 4 4】

前記ディフレクタは、前記ロアーフェアリングに結合される、請求項 4 3 に記載のオートバイ。

【請求項 4 5】

前記ディフレクタは、前記自動車の概して長手方向に延びている軸(1400)の周囲に結合され、および前記自動車に対して概して横方向の平面内で回転する、請求項 4 3 に記載のオートバイ。

【請求項 4 6】

前記ロアーフェアリングは、前記フロントフォークに隣接する位置まで延びている、請求項 4 3 に記載のオートバイ。

【請求項 4 7】

前記輪郭面は、前記フロントフォークにつながる概して凹状である、請求項 4 6 に記載のオートバイ。

【請求項 4 8】

前記輪郭面を介して配置された通気口(222)と、前記通気口を覆って配置された可動カバー(350)とをさらに備える、請求項 4 7 に記載のオートバイ。

【請求項 4 9】

前記可動通気口カバーと、前記ディフレクタは、前記可動通気口カバーおよびディフレクタの少なくとも一つの位置で重なる、請求項 4 8 に記載のオートバイ。

【請求項 5 0】

前記ステアリングアセンブリまたはフレームに結合されたアッパーフェアリング(50)をさらに備える、請求項 4 3 に記載のオートバイ。

【請求項 5 1】

前記アッパーフェアリングと前記ロアーフェアリングは交差し、前記ディフレクタは、その交差部に隣接して配置される、請求項 5 0 に記載のオートバイ。

【請求項 5 2】

フレーム(4)と、

該フレームを支持する前輪および後輪(6、8)と、

該後輪に駆動可能に接続された伝動機構(10)と、

該前輪に結合された、オートバイを操縦するためのステアリングアセンブリ(20)であって、該前輪に結合されたフロントフォーク(72)と、該フロントフォークに結合されたハンドルバー(28)とを備えるステアリングアセンブリと、

前記フレームに結合されたロアーフェアリング(66)と、

該ロアーフェアリングの上方部における左右のディフレクタ(220A、220B)で

あって、ライダーに対する空気流を可能にする位置と、空気を該ライダーから離してそらす位置との間で移動可能であるディフレクタと、

前記ロアーフェアリングを貫通して延びている通気口(222)と、
を備えるオートバイ(2)。

【請求項53】

前記通気口を覆って配置された可動通気口カバー(350)をさらに備える、請求項52に記載のオートバイ。

【請求項54】

前記可動通気口カバーと、前記ディフレクタは、前記可動通気口カバーおよびディフレクタの少なくとも一つの位置で重なる、請求項53に記載のオートバイ。

【請求項55】

前記ディフレクタは、前記ロアーフェアリングに結合される、請求項52に記載のオートバイ。

【請求項56】

前記ディフレクタは、前記自動車の概して長手方向に延びている軸(1400)の周囲に結合され、および前記自動車に対して概して横方向の平面内で回転する、請求項52に記載のオートバイ。

【請求項57】

前記ロアーフェアリングは、前記フロントフォークに隣接する位置まで延びている、請求項52に記載のオートバイ。

【請求項58】

前記輪郭面は、前記フロントフォークにつながる概して凹状である、請求項57に記載のオートバイ。

【請求項59】

前記ステアリングアセンブリに結合されたアッパーフェアリング(50)をさらに備える、請求項52に記載のオートバイ。

【請求項60】

前記アッパーフェアリングと前記ロアーフェアリングは交差し、前記ディフレクタは、その交差部に隣接して配置される、請求項59に記載のオートバイ。

【請求項61】

フレーム(4)と、

該フレームを支持する前輪および後輪(6、8)と、

それらの車輪の一方に駆動可能に接続された伝動機構(10)と、

該前輪に結合された、オートバイを操縦するためのステアリングアセンブリ(20)であって、運転者の手のためのハンドグリップ(212、214)を有するハンドルバー(28)を備えるステアリングアセンブリと、

少なくとも一つのセンサ(982、984)

各ハンドグリップ内または前記ハンドルバー内のヒータ(992、994)であって、前記センサからフィードバックを受取って、温度を一定の制御された温度に維持するヒータと、

を備える自動車(2)。

【請求項62】

前記センサは、前記ハンドグリップ温度を監視するための、ハンドグリップにおける、または前記ハンドルバー内の温度センサと、周囲温度センサと、速度センサのうちの一つである、請求項61に記載の自動車。

【請求項63】

前記温度センサはサーミスタである、請求項62に記載の自動車。

【請求項64】

車両制御モジュール(902)またはエンジン制御モジュール(904)をさらに備える、請求項61に記載の自動車。